

## 初代館長針生一郎没後7周年記念 金津創作の森 館蔵品展

本展では、「森はあらゆる芸術の源である」という基本信念のもと、初代館長針生一郎（1925-2010）が提唱した現代アートシリーズ企画「アートドキュメント」やこれまで開催した展覧会の寄託・寄贈作品を中心に紹介し、当館が新たな芸術の発信地として歩む契機となった展覧会「グラスアートドキュメント'98」（1998年）から世界的なガラス作家による「グラスワークショップ」まで、当館の館蔵品の数々を一堂に公開します。

会期／2018年1月20日（土）～3月4日（日）  
時間／10：00～17：00（最終入場16：30）  
会場／金津創作の森 アートコアミュージアム-1・ギャラリー  
休館日／月曜日 ただし、2月12日（月）は開館13日（火）休館  
観覧料／一般300円（200円）、65歳以上・障害者150円、  
高校生以下・障害者の介護者（当該障害者1人につき1人）無料  
\*（ ）内は20人以上の団体料金



テープスィリ・スクソーパー「暖かい光」1999、  
ドローイング/パステル、紙



針生一郎

### 関連イベント

#### 初代館長針生一郎出演 映画上映会

- 上映1『日本心中 針生一郎・日本を丸ごと抱え込んでしまった男。』  
（2001年/90分）（監督＝大浦信行 出演＝針生一郎、大野一雄ほか）  
日程：2018年1月20日（土）、2月10日（土）13：30～15：00  
会場：アートコア ミュージアム-2  
定員：150人（全席自由・要展覧会観覧券）
- 上映2『9.11-8.15 日本心中』（2005/145分）  
（監督＝大浦信行 出演＝針生一郎、重信メイ、榎木野衣ほか）  
日程：2018年1月21日（日）、2月11日（日・祝）13：00～15：25  
会場：アートコア ミュージアム-2  
定員：150人（全席自由・要展覧会観覧券） ※開場は各回30分前



ニック・マウント「無題」2001、ガラス（左）  
マイケルシャイナー「無題」2005、ガラス（右）

## 干支

【来年は戌年】  
2018年の干支は戌戌。十二支は戌です。これにちなんだ入居作家の作品をご紹介します。縁起物としていかがでしょうか。

### 〈年末年始休館日のお知らせ〉

- ・アートコアおよび創作工房  
12月29日（金）～1月3日（水）
- ・ガラス工房  
12月29日（金）～1月4日（木）
- ・レストランアンビション  
12月26日（火）～1月5日（金）

山田信雄（竹細工職人）  
「越前竹人形 献寿闘犬」  
[大：高さ18.5cm]2,800円（税込）  
[小：高さ11cm]1,800円（税込）  
※レストランアンビション、おしえる座にて販売



エズラガラススタジオ  
「福戌 餅2018」  
[ガラス製：高さ8cm]7,560円（税込）  
※ガラス工房にて販売



- 月曜休館（祝日の場合開館、翌平日休館）
- （公財）金津創作の森財団 事務局 TEL.73-7800 <http://sosaku.jp/>
- アンビション（レストラン&森の結婚式）問合せ アンビション TEL.73-4141



## 日ごろの文化活動を披露

◆11月4日（土）、5日（日） 中央公民館



第14回あわら市民文化祭を開催しました。作品展示やお茶席が行われたほか、芸能発表では、ダンスや楽器演奏などの19団体が登場。子どもからお年寄りまで、みんな楽しく元気に日ごろの練習の成果を披露していました。4日には生涯学習推進大会も同時に開催され、花壇コンクールや壁新聞コンクールなどの表彰や、金津高等学校吹奏楽部による演奏、市民活動サポート助成金活動の報告として椅子ヨガ体験が行われました。

## あいおいニッセイと包括連携協定を締結

◆11月6日（月） 市役所



あわら市は、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社と地方創生に関する包括連携協定を締結し、今後は、あいおいニッセイが提案する「地域・暮らしの安全・安心」「防災・災害対策」「観光振興」といった7つのメニューを中心に連携していきます。11月10日にYONETSU-KAN ささおかで開催された「高齢者すこやか交通安全教室」では、その第1弾として、最新式の運転シミュレーターを使用した運転適性診断を実施しました。

## 劔岳の秋を満喫

◆11月23日（木） 劔岳公民館



第36回劔岳かりんて祭が開催されました。直径2.5メートルの大鍋に野菜や肉をたっぷり入れた名物「かりんて鍋」の前には長蛇の列が。地元食材たっぷりの温かい鍋をおいしそうに頬張っていました。また、劔岳そばや地元農産物の販売店や模擬店、各地区の物産館などが立ち並んでいたほか、ステージイベントが行われ、訪れた人は、劔岳の秋を満喫していました。



まちかど graffiti では、広報係が取材した“あわらの話題”をお届けします！

## 芦原芸妓が稽古の成果を披露

◆11月3日（金） あわら温泉伝統芸能館



芦原温泉芸妓協同組合による「初秋おさらい会」が開催され、芸妓たちが日ごろの稽古の成果を披露しました。100年余りの伝統を持つ芦原芸妓による踊りや演奏が披露されるたびに、来場者から大きな拍手が送られました。また、湯のまち広場を散策していた観光客は「思いがけず芸妓さんの艶やかな舞を観覧することができて、いい思い出になった」と話していました。

## 温泉街で映画を楽しむ

◆11月4日（土）～12日（日） 市内



第3回あわら湯けむり映画祭が4日から11日までの8日間にわたって開催され、全国から応募のあった自主制作映画56作品が、市内の旅館などで上映されました。観客の投票の結果、小池匠監督の「家族のつくりかた」が「湯けむりグランプリ」に選ばれました。そのほか、映画監督で越前あわら観光大使の田中光敏特別審査員による「田中光敏監督賞」には遠藤健一監督の「ぶきっちょ」が、実行委員会による「審査員賞」には3作品がそれぞれ選ばれ、12日に授賞式が執り行われました。

芦原温泉街で発生した火災の見舞金として、おさらい会の来場者と芦原芸妓から5020円を、湯けむり映画祭授賞式の来場者と受賞監督から1万3039円をいただきました。いただいた見舞金は、市で集めた分と併せて被災者へ渡されました。